



2026 年 9 月 30 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 シ ー イ ー シ ー
代 表 者 代表取締役社長 姫野 貴
(コード番号 9692 東証プライム)
問合せ先責任者 経営戦略室長 金木 宏之
(TEL.03-5789-2442)

AI Librarium 株式会社への出資完了のお知らせ

当社は、2026年9月18日開催の取締役会において、AI Librarium株式会社（アイブリウム 以下 AI Librarium）との間におきまして、資本業務提携（以下「本提携」という）を決議し、2026年9月30日に出資を完了いたしましたことを、お知らせいたします。

なお、本件は、2026年6月4日付「AI Librarium株式会社との資本業務提携の検討開始に関するお知らせ」にて公表しておりました協議が、合意に至ったものであります。

記

1. 本提携の目的

AI Librarium は、"AI で日本の働き方をアップデートする"というビジョンのもと、顧客課題の解決にとどまらず、企業、事業変革を時代のスピードに合わせ推進できる組織変革までも視野に入れた、包括的なコンサルティングを提供しております。

当社は、本提携において、AI Librarium が有する AI 戦略の構想・策定力および AI ガバナンス・AI 監査に関する知見を取り込み、当社の強みである顧客の業務知見や AI エージェント・システムの実装力および運用力と結合させることで、顧客の AI 活用が実際の業務に定着するまでを一気通貫でご支援する体制を構築いたします。

とりわけ、AI を導入した後の運用・保守を継続的に担う AIOps・保守運用領域を両社の重点共同事業と位置づけ、サービスの共同開発・共同販売・共同運営も同時に推進してまいります。これは、当社が従来からシステム運用領域で築いてまいりました顧客との継続的かつ強固な関係を、AI 時代における新たな収益基盤へと転換させる取り組みです。

なお、本提携は製造、金融、公共、医療をはじめとする複数の業種・業務領域を対象といたします。両社の顧客基盤・技術・知見を組み合わせることで相乗効果が最も大きく見込める領域から、順次着手してまいります。

2. 本提携先の概要

(1) 商 号	AI Librarium 株式会社（アイブリウム）
(2) 本 店 所 在 地	東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビルディング
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役CEO 西川 智章

(4) 事業内容	コンサルティング	
(5) 資本金	1,500万円	
(6) 設立年月日	2025年9月1日	
(7) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません

(注) 当該会社は非公開会社であり、相手先との守秘義務契約により経営成績等については非開示とさせていただきます。

3. 本提携の概要

(1) 業務提携の内容

両社は、以下の事業に関して業務提携をしました。

(1) AIコンサルティング事業	AI戦略・構想策定
(2) AIエージェント事業	AIエージェント実装・基幹システム統合
(3) AIOps事業	運用・保守
(4) AIガバナンス事業	AIガードレール
(5) その他のAI関連事業	FDE育成/AI駆動開発/フィジカルAIデータReady化

(2) 出資の内容

当社は、第三者割当増資の引受により、AI Librarium の株式を取得することを内容とする出資を実施しました。

出資内容

(1) 取得株式数	3,400,000株
(2) 議決権の数	3,400,000個
(2) 取得価格（総額）	非公開
(3) 出資完了日	2026年9月30日

取得株式数および所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株
(2) 取得株式数	3,400,000株
(3) 異動後の所有株式数	3,400,000株
(4) 異動後の所有割合	10.18%

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年9月18日
(2) 業務提携の契約締結日	2026年9月18日
(3) 業務提携の開始日	2026年9月18日

(4) 出 資 の 契 約 締 結 日	2026年9月18日
---------------------	------------

5. 今後の展開

両社は本提携に基づき、当社の既存重要顧客に対する共同提案活動を速やかに開始いたします。中期的には、本提携を通じて推進する AI 事業を、当社の「VISION 2030」における事業変革の中核的な取り組みの一つとして位置づけて事業成長を目指してまいります。

当社は「AI 戦略」において、開発力、OT（制御・運用技術）領域の実績およびドメイン理解という当社固有の強みに、AI 技術を掛け合わせることで競争優位性を確立する方針を掲げており、本提携もその取り組みを加速させる施策の一つです。

また当社は、本提携を通じて獲得する知見を、重点領域として位置づけるフィジカル AI の社会実装にも活用してまいります。具体的には、製造現場の熟練技術者が有する暗黙知をデジタル化し、設備の稼働データや現場映像などの非構造データとあわせて、データ利活用基盤「Resolana（レゾラナ）」上で突合・整備いたします。整備したデータをもとに、製造業に特化したバーティカル AI が加工条件の最適化や設備の保全時期といった判断を行い、その判断を現場の設備やロボットの動作として実行するフィジカル AI へと接続することで、データの収集から現場での実行までを一貫して支援していく計画です。

今後も、自社開発や独自の研究投資に加え、外部パートナーとのアライアンスや学術機関等との共同研究を含む多様な選択肢を並行して検討し、事業機会の拡大に取り組んでまいります。新たな取り組みが具体化した際には、速やかにお知らせいたします。

6. 今後の見通し

本件における当社業績への影響は軽微であります。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上